

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおむすび		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域とのつながりを大切にし、多様な活動を通して子どもたちの成長を支援していることです。 子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。	日々の連絡や送迎時の会話、連絡ツール等を通して保護者との情報共有を行い、家庭と連携した支援を行っています。 また、活動内容が固定化しないよう様々な体験活動や交流の機会を取り入れています。	地域との交流や関係機関との連携をさらに深めながら、職員研修の充実や支援の質の向上に取り組んでいます。 また、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりを継続して行っています。
2	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしていることです。	送迎時の会話や連絡ツール等を通して保護者との情報共有を行い、家庭と連携した支援を行っています。また、活動内容が固定化しないよう様々な体験活動を取り入れています。	職員研修の充実や関係機関との連携を図りながら、支援の質の向上に努めています。
3	職員間で情報共有を行いながら、子ども一人ひとりの特性や状況に合わせた支援を行っていることです。	日々の打ち合わせや記録を通して子どもの状況を共有し、職員全体で支援内容を確認しながら支援を行っています。また、保護者との連携を大切にしながら支援を進めています。	職員研修や関係機関との連携を充実させながら、より専門性の高い支援が行えるよう取り組んでいます。

	職員研修や関係機関との連携を充実させながら、より専門性の高い支援が行えるよう取り組んでいます。	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども一人ひとりの特性や支援ニーズが多様化しているため、より専門的な知識や支援方法の習得が必要と考えています。改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 外部研修への参加や職員間での情報共有を行いながら、支援の質の向上に取り組んでいます。	子ども一人ひとりの特性や支援ニーズが多様化しているため、より専門的な知識や支援方法の向上が必要と考えています。	職員間での情報共有をより徹底し、支援内容や子どもの状況について定期的な振り返りを行うことで、より適切で統一した支援が提供できるよう取り組んでいます。
2	関係機関や学校等との連携をさらに深め、情報共有を充実させることが必要と考えています。 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 関係機関との連携や会議等への参加を通して情報共有を行い、より適切な支援につなげていきます。	関係機関や学校、家庭との連携をさらに深め、情報共有を充実させることが必要と考えています。	保護者との連携をさらに深めるため、日々の様子や変化を丁寧に伝える機会を増やし、安心して利用していただける環境づくりに努めています。
3	支援の質をさらに高めるためには、職員の専門性の向上や支援方法の共有が重要であると考えています。 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 職員研修やミーティングを通して支援方法の共有を行い、チームで支援できる体制づくりを進めています。	支援の質をさらに高めるため、職員間での情報共有や支援方法の統一をより充実させる必要があると考えています。	保護者との連携をさらに深めるため、日々の様子や変化を丁寧に伝える機会を増やし、安心して利用していただける環境づくりに努めています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 R8年 3月 31日						
放課後等デイサービス おむすび		利用児童数			53	回収数		38
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30			8	子供の人数がわからない	適切な職員配置を維持し、子ども一人ひとりに丁寧な支援が行える体制づくりに努めていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23		1	14		子どもが安心して過ごせるよう、分かりやすく構造化された環境づくりやバリアフリー等の配慮を継続して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	6		2	外で遊べるスペースがあるのは大変ありがたい 靴下の汚れが気になる	清潔で心地よい生活空間を維持し、子ども達が安心して活動できる環境づくりに努めていきます
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33			5		子どもの特性や発達段階を理解し、専門性を高めながら個々に応じた支援の充実を図っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	2				事業所で公表している支援プログラムと実際の支援内容が一致するよう、定期的な見直しを行っています。
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	2				保護者のニーズや子どもの状況を十分に把握し、適切な個別支援計画の作成に努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36			2		ガイドラインを踏まえた支援計画を作成し、今後も適切な支援内容の設定に努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38					個別支援計画に基づいた支援を行い、定期的な見直しを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36					活動プログラムが固定化しないよう、多様な活動を取り入れていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	19	3	3	12	頻回にこういう機会があってもかえって子供の負担になるので今のままでいい	地域との交流の機会については、今後検討しながら充実を図っていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34			1		利用開始時の説明について、より丁寧に分かりやすい説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	2	2	2	話せる機会をもっと作ってほしい	個別支援計画を保護者に丁寧に説明し、理解を深めながら支援を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	8	8	10	年に1回でもいいので外部講師を呼んで勉強会をひらいてほしい	保護者への情報提供や相談対応を通して、家庭との連携を大切にしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	31	8				日々の連絡や送迎時の会話を通して、保護者との情報共有を継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	6	3		面談や相談の機会を設けながら、子育てに関する支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	8		1		子どもや保護者に寄り添った支援が行えるよう、職員の意識向上に努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	9	11		保護者同士の交流機会については、今後検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	2	9	いつも急なお願いに対応してもらえありがとうございます。	相談や申入れには迅速に対応できる体制を整え、安心して相談できる環境づくりに努めています。

	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	0		子どもや保護者との意思疎通を大切にし、分かりやすい情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	2		3	ニュースレターが好きです	通信やSNS等を活用し、活動内容や行事予定等の情報発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	7		5	顔出しせず、後ろ姿などで様子を伝えてほしい	個人情報の適切な管理を行い、今後も取扱いに十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		13		各種マニュアルの整備と訓練を継続し、安全管理を徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3		11		避難訓練等を継続して実施し、災害時に備えた体制を整えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	3		9		安全計画に基づき、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	2		3		事故等が発生した場合は速やかに連絡し、再発防止に努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	3		2		子どもたちが安心して通所できるよう、信頼関係づくりを大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2	2			子どもたちが楽しみながら通所できるよう、活動内容の充実を図っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	2			大変満足している	保護者の皆様のご意見を大切にしながら、支援の質の向上に努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス おむすび		公表日		R8年3月31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	子どもの状況に応じた職員配置を行っています。	こどもの特性や利用状況に応じた適切な人員配置を継続し、安心して過ごせる支援体制をさらに整えていく必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	わかりやすい環境づくりや安全面に配慮した設備整備を行っています。	障害特性に応じた環境整備や情報伝達の工夫を継続し、より分かりやすく安全な空間づくりを進めていく必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日消毒液を使用して清潔を保てるように心がけています。日々の清掃や整理整頓を行い清潔な環境を維持しています。	清潔で心地よく過ごせる環境を維持しながら、活動内容に応じた空間づくりをさらに工夫していく必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	大人数から少人数や個別に対応できるようにしています。必要に応じて個別スペースを確保しています。	必要時に個別対応ができる場所の確保や、落ち着いた過ごせる環境づくりをさらに充実させていく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議等で振り返りを行っています。	職員全体で目標設定と振り返りに参加できるように、PDCAサイクルをより効果的に運用していく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	会議をし、評価表について改善できるように努めています。保護者アンケートを実施し支援改善につなげています。	保護者アンケート等で把握した意見を、より具体的に業務改善へつなげていく仕組みを充実させる必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間で意見交換を行っています。	職員の意見を定期的に把握し、支援や運営の改善に反映できる体制をさらに強化していく必要がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	自己評価を実施しています。	第三者評価の活用について検討し、客観的な視点を業務改善につなげていくことが望まれる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修動画で月に1回必ず勉強する機会を設けています。研修参加や内部研修を実施しています。	職員の専門性向上のため、研修機会の確保と学んだ内容の共有をさらに充実させていく必要がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて公表しています。支援プログラムを作成し公表しています。	支援プログラムについて、内容の見直しと分かりやすい公表方法を継続して整えていく必要がある。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントを行い計画作成をしています。	アセスメントをより丁寧にを行い、子どもと保護者のニーズを的確に反映した計画作成に努める必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間で検討し計画作成をしています。	計画作成時に関係職員が十分に意見交換できるように、共通理解の場をさらに充実させる必要がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	その都度共有し、職員間で支援ができていますか確認をしています。計画を職員で共有しています。	支援計画の共有を徹底し、全職員が計画に沿った支援を一貫して実施できる体制づくりが必要である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日々の観察と記録で状況確認しています。	標準化されたアセスメントツールの活用を進めるとともに、日々の行動観察との連動を強化し、より精度の高いアセスメントの実施が課題です。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。	ガイドラインに基づいた支援計画の作成は行っているものの、より具体性や個性を高めた支援内容の設定が課題です。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員で活動を検討しています。	活動プログラムはチームで立案しているものの、より多角的な視点での検討や意見共有の充実が必要です。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	月のイベントなどを取り入れています。	活動内容の工夫は行っているものの、マンネリ化を防ぐため、より多様なプログラムの導入が課題です。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子供の障害特性を考えて支援しています。	個別活動と集団活動の組み合わせについて、より個々の状況に応じたバランス調整が課題です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		支援開始前の打合せは実施しているものの、情報共有の質の向上と役割分担の明確化が課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	1	振り返りを毎日行っています。	支援後の振り返りは行っているものの、支援改善につながる共有の深度を高める必要があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		支援後の振り返りは行っているものの、支援改善につながる共有の深度を高める必要があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		モニタリングは実施しているものの、より効果的な見直しにつなげる精度向上が課題です。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	必ず参加し共有しています。	「4つの基本活動」を意識しながら、複数の活動をバランスよく組み合わせ支援をさらに進める必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		こどもが自ら選び決める経験を積めるよう、自己決定を支える関わりや環境設定をさらに工夫していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	情報共有と相互理解に向けて支援しています。	関係会議にはこどもの状況を十分に理解した職員が参加し、情報共有の質を高めていく必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		地域の関係機関との連携をさらに深め、こどもに応じた切れ目のない支援体制を強化していく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		学校との情報共有や連絡調整をより丁寧に行い、安心して利用できる支援体制を継続していく必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		就学前機関との情報共有をさらに充実させ、支援の連続性を高めていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		卒業後の移行先への情報提供を丁寧に行い、切れ目のない支援につなげていく体制をさらに整える必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	必要に応じて助言等を受けています。	児童発達支援センターとの連携を深め、助言や研修を受ける機会をさらに活用していく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		地域のこどもたちとの交流機会について、実情に応じて無理のない形で充実を図っていく必要がある。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		協議会等への参加を通じて地域とのつながりを深め、事業所としての役割をさらに広げていく必要がある。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎の際にお伝えしています。	保護者との日々の情報共有をより丁寧に行い、発達状況や課題への共通理解をさらに深めていく必要がある。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		家族支援の視点を大切にし、保護者向けの学びや相談の機会、情報提供をさらに充実させる必要がある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		運営規程や利用者負担等について、より分かりやすく丁寧な説明ができるよう工夫していく必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	LINEや送迎時に家族様の意向を確認しています。	計画作成時には、こども本人と保護者の意向をより丁寧に確認し、意思を尊重した支援につなげる必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		支援内容の説明を分かりやすく行い、保護者に安心して同意していただけるよう丁寧な対応を継続する必要がある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		子育ての悩み等に対して相談しやすい雰囲気づくりを継続し、必要な助言や支援をさらに充実させる必要がある。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	今後検討していきます。	保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会について、実施方法を工夫しながら充実を図っていく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		苦情対応体制の周知を継続し、迅速で丁寧な対応ができるよう職員間の共通理解をさらに深める必要がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		通信やSNS等を活用した情報発信を継続し、より分かりやすく timely な発信方法を工夫していく必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		個人情報の取扱いについて、職員全体で継続的に確認し、適切な管理を徹底していく必要がある。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	LINEや連絡帳等で保護者の方とやり取りをしています。	障害特性や家庭状況に応じた情報伝達の方法を工夫し、意思疎通しやすい環境をさらに整える必要がある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域に開かれた事業所運営を進めるため、地域住民との交流機会を無理のない形で広げていく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年2回訓練を実施しています。	各種マニュアルの周知と見直しを継続し、実際の場面を想定した訓練をさらに充実させる必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年2回訓練を実施しています。	BCPの内容を職員全体で共有し、非常時を想定した訓練を継続的に実施していく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		服薬や既往歴、てんかん発作等の情報確認を丁寧に行い、安全に支援できる体制をさらに強化する必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		食物アレルギーへの対応について、医師の指示や保護者との確認をより徹底し、安全管理を継続する必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		安全計画に基づいた研修や訓練を継続し、安全管理がより確実に行える体制づくりを進める必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		安全計画の内容や取組について、家族へ分かりやすく周知し、連携を深めていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		ヒヤリハット事例を職員間で共有しやすい仕組みを整え、再発防止策の検討をさらに深める必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修動画を活用し、スタッフに向けた研修を行っています。	虐待防止に関する研修や確認の機会を継続し、職員一人ひとりの意識向上を図っていく必要がある。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束は致しません。 研修動画にて身体拘束をしない支援を学び、スタッフとの共有事項にしております。	身体拘束については、やむを得ない場合の手順や説明体制を明確にし、適切な運用を徹底する必要がある。	